

教員志望者を対象とした様々な取り組みについて

成蹊大学教職課程センターでは、教員志望者を対象に以下の様々な取り組みにより教員採用試験の合格を支援しています。この「勉強会」は、在学生の教職課程履修者、教職課程科目等履修生、卒業生の教職課程履修者で教員を目指している人を対象としています。

1. 教員採用に向けての取り組み

教員志望の学生に対して、日常的には中学、高等学校の教育現場での経験が豊富な先生（教職課程専門員）が個別の相談・指導を行っています。これには大学の教職課程専任教員とも逐次連携して指導しています。内容は、勉強法、論作文添削指導、面接指導等をはじめ学生の希望に即して適宜対応しています。

また、公立学校教員採用試験の一次試験合格者に対し、二次試験対策の勉強会を夏期休業中に集中的に行っています。さらに、各教科において教諭経験が豊富な方や専門的知識がある方を教科教育法や教育実習の授業等に招聘したり、成蹊学園の学校としての歴史変遷、創立者の中村春二の教育に対する思いを肌で感じるために学園史料館での見学実習を行ったりするなど、教職就職を意識づける取り組みも行っています。

2. 教職基礎教養強化講座の実施

毎年2月に、次年度教育実習予定学生を中心とした希望者を対象として実施しており、参加者は教職課程履修の意識が高く、教員就職を上位志望としている者が大半を占めています。近年では「授業における ICT 講座」「ファシリテーション講座」を実施しています。

「授業における ICT 講座」：外部講師による実技を交えた講習。

タブレット端末や電子黒板等を活用した授業について学びます。

「ファシリテーション講座」：外部講師による実技を交えた講習。

教育実習および教育現場で必須のスキルとしてのファシリテーションについて学びます。

3. 卒業生との交流

教職に就いた卒業生および教職課程履修者を対象とした研究会・交流会を開催しています。研究と研鑽の場の提供、卒業生と学生の交流を目的としており、学生として参加したものが数年後卒業生の立場で学生へ助言をする姿も見られ良い循環が生まれています。

また卒業生には、毎年、次の年度に教育実習を行う学生を対象に行う「特別講演会」の講師となっただき、現職教員として「教育実習生に望むこと」「教員を目指す学生へのアドバイス」など、教科指導・生徒指導・教員生活における体験談を話していただき、教職就職への動機づけを強いものとしします。

さらに2023年度からは、新入生向けの教職課程ガイダンスにおいて、先輩として新入生に向けてのメッセージを話していただく取り組みを始め、新入生で教職課程の履修を考えている人への履修を喚起するものとなっています。

4. 教員就職専願者向けの科目の設置

教員就職を第一志望とした学生向けに、3年次後期から4年次前期にわたって履修する「教職特論演習Ⅰ（3年次）」「同Ⅱ（4年次）」において、これまでの学修で教職に関して獲得、理解してきた多くの知識についての確認を行い、不足分を補いながら、改めて教育について考え、実践する上でのミニマムエッセンシャルズ（一

般に「教職教養」と呼ばれる内容)を、総括的に自発的に深く学ぶ授業を開設しています。

5. 教職課程センター内「自習室」「模擬授業用室」の活用

大学6号館2階に設置されている「教職課程センター」には、学生が教員採用試験や教職課程の授業の自習ができるよう、専用の学習室を設置しています。教科書、教員採用試験の過去問題集等を取りそろえるとともに、学内設置のものと同一環境のPCも設置し、学生の学習の一助としています。また、授業におけるICT活用、デジタル教科書の活用法等を学ぶために、タブレット(キーボード付き)を用意しています。

さらには、教科の指導法の科目、教育実習事前事後指導及び教職実践演習で取り入れられている模擬授業の練習のために、黒板、ホワイトボード、電子黒板(簡易設置で対応可能なもの)等を備えた専用の室もあり、模擬授業の練習のみならず、学生のグループ学習にも活用されています。

以上のほか成蹊大学教職課程センターでは、教職課程専任教員が必要に応じて個別相談に応じる等、教員採用試験受験希望者を対象に採用試験合格へ向けて様々な活動をしています。